

特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター

平成 27 年度事業報告及び決算報告

I 平成 27 年度事業報告

【特定非営利活動に係る事業】

1. 住民活動支援事業

1-1 住民活動支援窓口の開設（自主事業）

事業区分：自主事業

実施期間：平成 27 年 7 月～平成 28 月 6 月

内 容：岩船地域内における住民活動に関する各種支援（相談・仲介・情報提供等）窓口の開設。

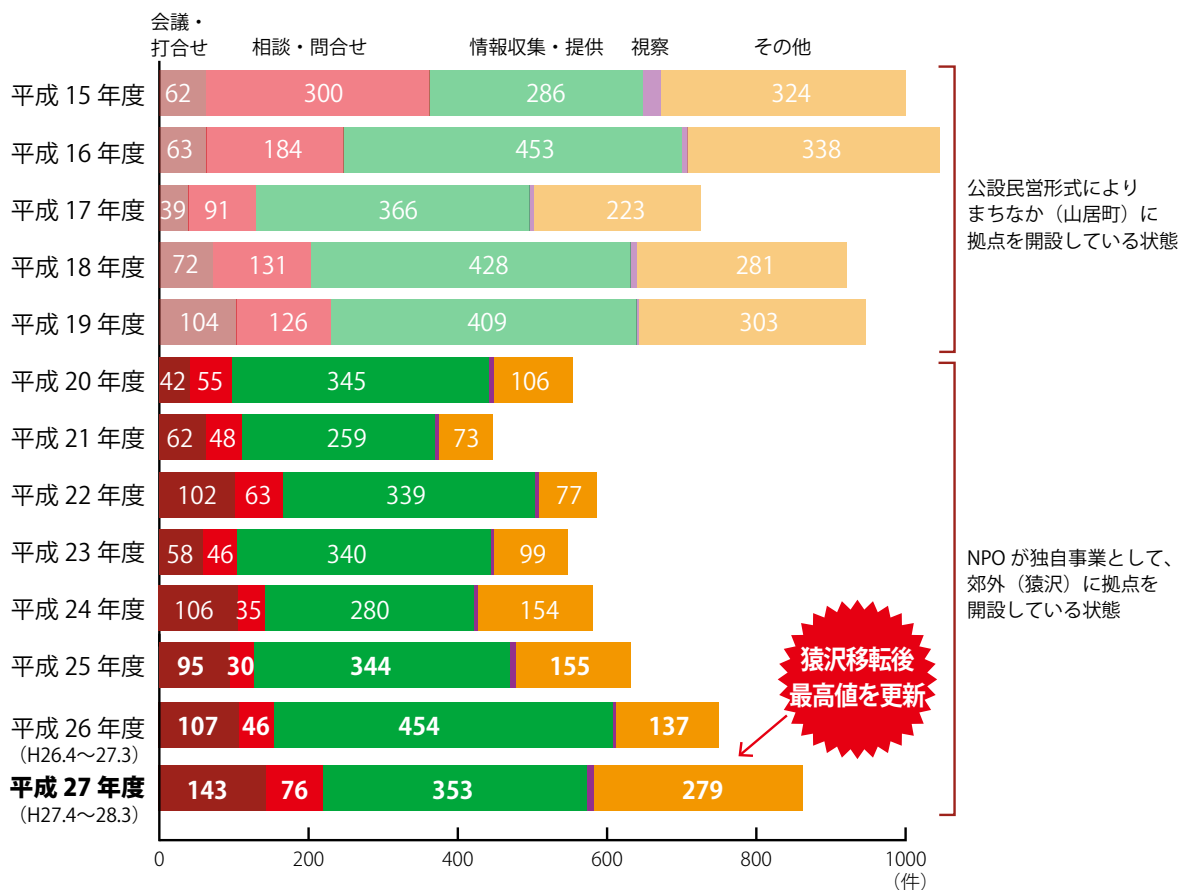
【実施概要】

朝日道の駅みどりの里内にある「グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）」にて、活動相談、情報提供、会議室の貸し出し、各種問合せ対応などの住民活動支援を実施。

【成果（センター利用件数）】

27 年度（H27.4～H28.3）のセンター利用件数は、860 件（前年比 15% 増）／1,057 人（前年比 18% 増）であり、いずれも拠点を猿沢に移転してからの最高値となった。中でも相談件数が堅調に回復している。（前年比 65% 増）

【所 見】 支援窓口としての求心力が、着実に回復してきている。



1-2 街なか拠点の運営協力（自主事業）

- 【事業期間】 平成 27 年 7 月～平成 28 年 6 月
- 【内 容】 (株) 富樫工務所との協働により、村上市鍛冶町にあるモデルハウス「木くばりの家」を、市民団体が気軽に利用できる活動スペースとして提供する仕組みを構築。
- 【実施概要】 両者の中で「賃借料は無償」「光熱費は実費負担」「(株) 富樫工務所の業務(モデルハウスの見学)に支障が無ければいつでも使用可(原則 8～21 時)」「住民活動支援及び各種イベントでの利用」という内容で協定を締結。利用の受付・鍵の管理は、都岐沙羅パートナーズセンターが担当。
- 【実 績】
- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|------------|----------------|------|----------------|--------|---------------|----|---------------|----------|--------------|------|--------------|-----|----------------|
| 利用者数 | のべ 1,874 人 (前年 817 人 / 129% 増) | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用団体数 | 15 団体 (前年 6 団体 / 150% 増) | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用回数 | 130 回 (うち都岐沙羅パートナーズセンター利用は 29 回)
※ 前年 67 回 (うち都岐沙羅パートナーズセンター利用 27 回) | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用目的 | <table border="0"> <tr> <td>コミュニティスペース</td> <td>37 回 (前年 19 回)</td> </tr> <tr> <td>各種教室</td> <td>22 回 (前年 12 回)</td> </tr> <tr> <td>イベント開催</td> <td>36 回 (前年 7 回)</td> </tr> <tr> <td>会議</td> <td>12 回 (前年 4 回)</td> </tr> <tr> <td>サークルでの利用</td> <td>7 回 (前年 2 回)</td> </tr> <tr> <td>視察対応</td> <td>0 回 (前年 2 回)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>16 回 (前年 21 回)</td> </tr> </table> | コミュニティスペース | 37 回 (前年 19 回) | 各種教室 | 22 回 (前年 12 回) | イベント開催 | 36 回 (前年 7 回) | 会議 | 12 回 (前年 4 回) | サークルでの利用 | 7 回 (前年 2 回) | 視察対応 | 0 回 (前年 2 回) | その他 | 16 回 (前年 21 回) |
| コミュニティスペース | 37 回 (前年 19 回) | | | | | | | | | | | | | | |
| 各種教室 | 22 回 (前年 12 回) | | | | | | | | | | | | | | |
| イベント開催 | 36 回 (前年 7 回) | | | | | | | | | | | | | | |
| 会議 | 12 回 (前年 4 回) | | | | | | | | | | | | | | |
| サークルでの利用 | 7 回 (前年 2 回) | | | | | | | | | | | | | | |
| 視察対応 | 0 回 (前年 2 回) | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 16 回 (前年 21 回) | | | | | | | | | | | | | | |
- 【所 見】 利用者・利用回数が倍増し、着実に地域のコミュニティスペースとして機能するようになった。また、ここでの活動から、地域内に活動フィールドを広げていく利用者・団体も散見されるようになり、住民活動のインキュベーション施設として新しいスタイルを構築しつつある。



1-3 村上市若者チャレンジ応援プロジェクト（委託事業：村上市）

【事業期間】 平成 27 年 7 月～平成 28 年 6 月

【事業概要】 村上市に在住・在勤する若者の集う場づくりをすることで、若者が語り合い、交流し、仲間づくりをする機会を創出し、若者の交流、人材育成、婚姻や定住の促進を目指す。

【開催実績】 おしゃべり Cafe：14 回開催

チャレンジプロジェクト：4 事業・11 プログラム実施

【成 果】 おしゃべり Cafe：参加者延べ 699 人（純利用者数：122 人）

チャレンジプロジェクト：参加者延べ 213 人

参画者自立度指数*：40 点→98 点

※ チャレンジプロジェクト 1 回の開催にあたって必要となる作業項目をあげ、それぞれにかかる時間や手間を考慮した配点表を作成。これにより、参画者と都岐沙羅パートナーズセンタースタッフの作業分担を数値化し、その変化から参画者自立度指数を算出。

【所 見】 おしゃべり Cafe は参加者の幅が広がり、独身男女の利用も増えてきた。ミニイベントが充実したことで、ミニイベントを目当てにくる新しい参加者も多く、参加者の固定化を防ぐことができている。

チャレンジプロジェクトについて継続しているものは自立度が上がり、自主的な活動へと発展している他、参加者自ら新企画について相談に訪れるなど、活動を応援してくれる場だと認知されるようになってきている。



2. コミュニティビジネス支援

27 年度においては、特に実施せず。

3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

3-1 村上地域グリーン・ツーリズム協議会事務局の運営（事業協力）

朝日みどりの里にある朝日グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）にて、官民協働で設立した「村上地域グリーン・ツーリズム協議会」の事務局を運営。各種会議の連絡調整・対外的な連絡窓口を担った。

(内容)

- 総会、幹事会、ワーキングチーム会議の運営
- 協議会の事務・経理作業

3-2 村上グリーン・ツーリズム協議会事業の実施（事業協力）

村上地域グリーン・ツーリズム協議会の平成 27 年度事業について、全事業の企画・調整・コーディネートを担当した。

【実施概要】

1) 協議会自主事業

(1) 銀座&六本木はさ掛けイベントの開催

- 【実施日】 銀座開催 :平成 27 年 9 月 5 日 (土)
六本木開催:平成 27 年 9 月 6 日 (日)
- 【場 所】 東京都中央区銀座/港区六本木
- 【参画者】 9 名
- 【参加者】 銀座:約 20 人/六本木:約 30 人
- 【内 容】 ①銀座ミツバチ交流イベント 『酒米はさがけ体験&村上の食を楽しむ』
▷銀座松屋通にて、はさ掛け(酒米五百万石)を実施。
▷村上食材を使った交流会の開催(参加者:20 名)
- ②六本木朝日神社交流イベント 『新潟朝日の秋神楽 はさ掛けを楽しむ』
▷朝日神社境内にて、はさ掛け(酒米五百万石)を実施。
▷わらを使った体験イベント(リース作り)の開催。
▷村上地域の食を味わうイベント実施(地酒・甘酒・笹団子・まんまスティック試食会等)
▷村上地域の物産(酒・鮭・米・こめんぼう・塩・鮭みそ等)の販売。

(2) 銀座はさ掛け撤収&元麻布農園交流イベントの開催

- 【実施日】 平成 27 年 10 月 3 日 元麻布農園イベント
平成 27 年 10 月 4 日 銀座はさ掛け撤収作業
- 【参画者】 3 名
- 【参加者】 38 人
- 【内 容】 ①元麻布農園交流イベント
▷おしゃれなシェアハウスと農園が一体となった農園付き住居にて、村上食材、地酒を振る舞うイベントを開催
- ②銀座はさ掛け撤収作業

(3) 2015 新嘗祭における体験イベントの開催

- 【実施日】 平成 27 年 11 月 23 日 (月)
- 【場 所】 東京都港区六本木・朝日神社
- 【参画者】 6 名
- 【参加者】 約 550 人
- 【内 容】 ふるまい(芋煮・お酒) /地域 PR /地域物産(米、モチ、酒、鮭等)

(4) 東京油田における PR イベントの開催 (2015 油田・村上～餅でくっつき、のびーる縁～)

- 【実施日】 平成 27 年 12 月 12 日 (土)
- 【場 所】 東京都墨田区・油田モール
- 【参画者】 4 名
- 【参加者】 約 300 人
- 【内 容】 ①物産販売物 (餅・米・野菜・鮭商品・漬け物等)
②正月飾りづくりワークショップ (ワラ、まゆ、水引等)

(5) 学校と地域を結ぶオープンセッションにおける子供体験の開催

- 【実施日】 平成 27 年 8 月 6 日 9:30～11:50
- 【場 所】 村上市総合文化会館
- 【参画者】 6 団体
- 【参加者】 市内小学生 67 人
- 【内 容】 防災体験、昼コースターづくり、まゆの糸取り、おやつづくり等

(6) 2015 夏の観光展への出展

- 【実施日】 平成 27 年 6 月 28 日 (日) 11:00～19:00
- 【場 所】 東京駅丸の内南口 JP タワー『KITTE イベントスペース』
- 【参画者】 2 人
- 【内 容】 特産品販売、パンフレット配布

(7) 丸の内・行幸マルシェ～青空市場 × 新潟県～への出展

- 【実施日】 平成 27 年 11 月 20 日 11:30～19:30
- 【場 所】 東京駅行幸地下通路
- 【参画者】 2 人
- 【内 容】 永嶋敏行氏主催の『青空市場』に参加し、
地域食材 PR と販売を実施。

(8) 新潟グリーン・ツーリズムおもてなし向上支援事業の参加

- 【内 容】 ツアー企画コンペへの参加。コンペ順位により補助金 (定額) が交付。
- 【成 果】 4 位となり 50 万円の補助金が交付され、村上地域グリーン・ツーリズム協
議会として以下の物品を購入した。
 - ▷子供用スノーシュー: 15 組
 - ▷大人用スノーシュー: 15 組
 - ▷テント: 3 基
 - ▷簡易移動ピザ窯: 1 基

(9) 学童等の長期滞在モデルプラン研修会への参加

- 【実施日】 平成 27 年 12 月 10 日 13:00～16:00
- 【場 所】 南魚沼市レイホー八海 農業体験実習館
- 【内 容】 学童等の長期滞在モデルプラン作成のための研修への参加
- 【参加者】 2 人

(10) 東東京プレイツアーイベント研修への参加

- 【実施日】 平成 28 年 3 月 12 日
- 【内 容】 東京油田カフェを中心に各所で様々な体験・ワークショップを開催するイベ

ントに参加。実際に体験しながらイベントを視察すると共に、交流会では地酒を持ち込み地域のPRを実施。

【参画者】 1人



銀座はさ掛けイベント



銀座での交流イベント



丸の内 行幸マルシェ



六本木での交流イベント



元麻布でのPRイベント



東京油田（墨田区）でのPRイベント

【所見】

地域の食を活かして誘客宣伝・プロモーション活動を都内で展開したことで、人と人との繋がりができてきた。その中で村上岩船地域に来訪して戴く機会も増えてきた。今後も交流を深め、来訪してくれる人が増えるようなPRを展開したい。

3-3 地域資源活用推進事業～村上・岩船地域の食を通して観光誘客へ～（委託事業：新潟県村上地域振興局）

- 【開催日】 平成 27 年 10 月 12 日（月）、26 日（月）
【場 所】 古町花街コミュニティインフォメーション（新潟市中央区古町 9 番町 1474-1）
【内 容】 新潟市内で村上・岩船地域の食材を使い郷土料理などを提供し地域 PR を行い、地域で行われる食イベントの割引券を配布しイベントへの誘客を実施。また、事後アンケートも実施し、プロモーションプログラムと誘客に関する効果分析も実施。

【実施概要】 ①プロモーションプログラム

▷いなかご馳走まつりで提供する郷土料理を提供しながら、イベント及び村上観光のPRを実施。

▷ランチプログラムと夜学プログラムの2種類を開催。時間指定でランチは3クール/日、夜学は2クール/日で実施。

▷参加者には「いなかご馳走まつり（10/24～11/8）」「たかね新蕎麦と秋の味覚収穫祭（11/22）」の割引券を配布し、実際に使用されたかどうかを追跡調査。

②プロモーションプログラム参加者への事後アンケート

▷プロモーションプログラム参加者に、食のイベント・キャンペーン終了後、アンケート調査を実施し、実際に村上地域に足を運んだかどうか等を調査。

- 【成 果】 プロモーションプログラム参加者：75 人
割引優待券利用によるイベント参加者：20 人
事後アンケート回答数：48 人（回収率 64%）

- 【所 見】 プロモーションプログラムの参加者の満足度は非常に高かったものの、地域への誘客については、思うような効果が得られなかった。参加者からは新潟での夜学を定期開催してほしいとの意見が多くある。プロモーションプログラムとしての完成度は非常に高いレベルまでいっていることから、ここから実際の誘客につなげるための仕組みづくりが依然として課題である。



3-4 朝日まほろば夢農園管理事業（委託事業：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合）

都市住民との交流促進を目的に、村上市が朝日みどりの里内に開設した貸し農園（クラインガルテン）について、その管理運営を支援。

- 【実施期間】 平成 27 年 7 月～平成 28 年 6 月

- 【実施概要】**
- ①農園の利用者及び組合員への広報業務
▷夢農園プレス（11回発行）／ホームページの更新
 - ②農園利用者及び組合員の交流企画
▷年3回の交流イベントを企画・コーディネート（開園式・納涼祭・収穫祭）
 - ③栽培講習会の開催
▷年2回の講習会の企画・コーディネート（春栽培講習会・料理講習会）
 - ④組合員の視察研修のコーディネート
 - ⑤夢農園事務局業務（窓口・経理・イベント業務）
- 【成 果】** 夢農園年間利用者数：のべ308人・回
交流イベント参加者数：のべ100人



3-5 青少年森林林業体験塾・企画運営（委託事業：新潟北部地域林業振興協議会）

【事業期間】 平成27年8月19～20日

【事業概要】 林業に関心を持ってもらい、林業の就業者を増やすため、高校生を対象とした1泊2日林業体験合宿を実施。森林に関する講義や間伐体験、高性能林業機械作業体験、製材工場見学等、普段目にする機会のない現場で林業を体感してもらえるプログラムを多く取り入れた。

【参加者数】 12人

【成 果】 参加者のうち4名が林業関連の職種に就職。

【所 見】 参加者は村上岩船地域以外からも林業関連会社へ就職を希望している高校生が参加するなど、地域外からの反響も大きかった。またテレビ取材が入ったことで、村上の林業が盛んであることをPRすることもできた。



3-6 森林体験活動指導者への安全マニュアル作成 (委託事業:岩船・村上緑化推進連絡会議)

【事業期間】平成27年8月～11月

【事業概要】森林・林業体験を行う小学校教員向けに体験中の注意点をまとめた安全マニュアルの作成。

【成果】森林に入る際の基本的な注意点や、企画の作り方、持ち物などをA3両面にまとめた持ち運びできるリーフレットを作成。市内の小学校全校に配布。



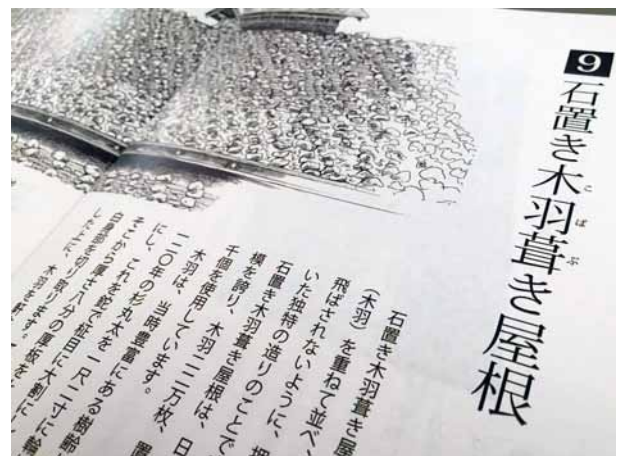
3-7 越後下関地区・観光ガイドブック作成 (委託事業:米沢街道地域づくり検討会)

【事業期間】平成27年7月～平成28年5月

【内容】関川村下関地区周辺施設を訪れる観光客の満足度を向上させるため、観光地の場所や解説を掲載した観光ガイドブックの作成。

【実施概要】昨年度作成した「米沢街道編」に引き続き、「渡邊邸編」のイラスト作成及び編集デザイン・印刷を実施。また、米沢街道編については増刷も実施。

【成果】「関川村・散策ガイドブック②国指定重要文化財・渡邊邸編」1,000部作成



4. 地域づくり事業のコーディネート

4-1 学校と地域を結ぶオープンセッション（事業協力：村上市教育委員会）

- 【事業期間】 平成 27 年 7 月～ 9 月
- 【内 容】 学校と地域の様々な知識や技能を持った人々が、情報交換することにより地域のみんなで子供達を育てる体制づくりを目指す事を目的に、学校関係者と地域の方々が一堂に会し情報交換を行う。
- 【実施概要】 開催日時 平成 27 年 8 月 6 日 9：30～16：00
会 場 村上市総合文化会館・全館
内 容 ・子どもあそびひろばの開催（小学生向けの体験コーナー設置）
・シンポジウムの開催（学校、地域団体、社会教育団体各方面からの郷育の提言発表）
・学校関係者と地域団体の交流会の開催（地域団体紹介、ブース訪問）
- 【成 果】 地域団体：27 団体（28 人）／学校関係者：108 人
子どもあそびひろば：67 人
- 【所 見】 オープンセッション 10 回目を迎え、郷育への提言を行うシンポジウムを開催し、改めて村上の郷育を考える機会となった。また初めての試みで、子ども達に実際に体験してもらおうイベントを開催し地域団体と子ども達の接する機会を設けた。10 回の継続のなかで学校と地域の連携が徐々に進んできたと思われる。先生は転勤等があるので、継続してこのような機会を設けていくことは必要だと考える。



4-2 地域人材育成業務委託（委託事業：村上市）

- 【事業期間】 平成 27 年 7 月～平成 28 年 6 月
- 【内 容】 協働情報誌「むらかみ元気マガジン」を年 3 回発行。
村上市内に 17 あるまちづくり協議会の平成 26 年度の活動状況のまとめ、冊子を作成する。
- 【実施概要】 平成 27 年 7・11 月・平成 28 年 3 月の計 3 回「むらかみ元気マガジン」を発行。26 年度の各まちづくり協議会活動を整理・分析し、平成 24～26 年度まで 3 年間に渡るまちづくり協議会活動報告書を作成。
- 【所 見】 むらかみ元気マガジンについては「よそもの・わかものとの協働」「地域を歩いて魅力再発見」「補助人」というこれまでにないテーマでの情報を掲載。

地域団体とまちづくり協議会どちらもの情報をテーマに沿って取り上げ、他の活動が見える誌面を意識して作成した。

まちづくり協議会活動報告書は、26年度に新たな活動をはじめたり、様々な動きが見られたため、3年度分のデータをまとめたことで各協議会の活動内容や成果がはっきりしてきた。



4-3 高根活性化プロジェクト支援業務（委託事業：高根活性化委員会）

【事業期間】 平成 27 年 7 月～平成 28 年 10 月

【内 容】 これからの 10 年を見据えた集落ビジョンの計画書作成

【実施概要】 昨年度実施したワークショップの結果を整理し、集落ビジョンとして計画書を作成（原稿作成・編集デザインまで）。

4-4 関川村大島・畑作栽培講習会 企画運営（委託事業：関川村大島農家組合）

【事業期間】 平成 27 年 7 月～9 月

【内 容】 大島農家組合員の野菜栽培技術と直売所出荷の意識向上を図る事を目的とし、講習会の開催にかかるチラシ作成、講師派遣、企画調整を行う。

【実施概要】 組合員を対象に、座学での講座（講師：本間農園・本間正栄氏）と現地研修を月 1 回のペースで開催。（全 6 回中、昨年度に 5 回開催）

【成 果】 延べ 20 人が参加

4-5 関川村空き家等状況調査（委託事業：関川村）

【事業期間】 平成 27 年 3 月～9 月

【内 容】 関川村における空き家等の状況の実態調査。

【実施概要】 村から提供された空き家台帳（200 戸）について定型様式の項目に従って現地調査を実施。調査書、建物写真、住宅地図への色分けでの記入を行い報告書を納品。

【所 見】 空き家といっても色々なパターンがあり、空き家になってからの時間によって利用の可能性が大きく違ってくると思われる。取り壊しを早々に行うべきと思われるものも数多く見受けられた。

4-6 第2回「岩船米」品質食味コンテスト（委託事業：新潟県村上地域振興局）

- 【事業期間】 平成27年8月～平成28年1月
- 【内 容】 第2回「岩船米品質食味コンテスト」に関わる広報と1次審査、予備審査、本審査での審査作業補助。
- 【所 見】 昨年度は新聞折込を行ったチラシを、今年度は村上市報、関川村報への挟み込みへと変更したが、参加者増加にはあまりつながらなかった。審査に関連して米の成分調査や、食味コンテストの裏側を学びながら、岩船米をPRすることにつながった。



4-7 2015 ワーク&ライフセミナー in 村上

（委託事業：（一財）新潟ろうきん福祉財団）

- 【事業期間】 平成27年8月～12月
- 【内 容】 連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて行われている「2015 ワーク&ライフセミナー in 村上」を開催。
- 【実施概要】 開催日：平成27年11月28日（土）
会 場：村上市民ふれあいセンター 2F 研修室
内 容：「若者の主体性を引き出す」をテーマに、パネルディスカッションとワークショップを実施。
- 【成 果】 参加者数 105 人
- 【所 見】 「若者の主体性を引き出す」というテーマで、トークセッションとワークショップ（ワールドカフェ形式での意見交換会）を実施した。普段、地域活動に触れる機会が少ない労働組合関係者の方々に、地域での取り組みを知ってもらい、若者という切り口から、地域との関わりについて考える場となった。



4-8 多様な主体による協働フォーラム（委託事業：新潟県県民生活課）

- 【事業期間】 平成28年1月～3月
- 【内 容】 村上地域（村上市・関川村・粟島浦村）の市民・NPO・企業・行政が一堂に会し、情報・意見交換を行うワークショップ（ワールドカフェ形式）を開催する。
- 【事業概要】 開催日：平成28年3月21日（月・祝）

会 場：村上市生涯学習推進センター

内 容：「第6回まちカフェ」として、事例発表及びワークショップ（ワールドカフェ形式での意見交換会）を開催。

- 【成 果】 参加者 44 人
【所 見】 「垣根を越えてつながる」というテーマで、トークセッションとワークショップを実施。トークセッションは参加型にし、他団体がどのように活動しているかを聞くことに加えて、紹介した側がアドバイスをもらう機会ともなった。この場で参加者同士がつながり、新しい協働事例も生まれた。



4-9 村上市婚活支援事業（補助事業：村上市）

【実施期間】 平成 27 年 10 月～ 12 月

【内 容】 村上市在住・在勤の未婚男女を対象にした婚活セミナーの開催。

【実施概要】 ①本音トーク会（女子の会）

開催日時：平成 27 年 11 月 10 日（火）19：00～21：00

開催会場：富樫工務所モデルハウス 木くぼりの家

参加人数：9 人

②本音トーク会（男子の会）

開催日時：平成 27 年 11 月 19 日（木）19：00～20：00

開催会場：富樫工務所モデルハウス 木くぼりの家

参加人数：5 人

③羽林由鶴先生による恋活・婚活セミナー

開催日時：平成 27 年 12 月 20 日（日）13：30～17：30

開催会場：富樫工務所モデルハウス 木くぼりの家

参加人数：男性 9 人、女性 12 人（計 21 人）

- 【所 見】 婚活イベントと聞くと堅苦しく参加しづらいという声を以前から耳にしていたので、あえて気軽に参加できるセミナーを企画したところ、男女とも多くの参加があり、セミナーの開催を通じて交流があり、学びながら参加者同士の交流にも繋がった。



4-10 総合学習支援（事業協力：村上中等教育学校）

【事業期間】 平成 27 年 10 月～平成 28 年 2 月

【内 容】 村上中等教育学校5年生（高校2年生に相当）の総合学習において、地域と連携した授業を実施したいという学校側の要望を受け、授業の企画・コーディネートを担当。

【実施概要】 各分野で地域を元気にする人たち6名に協力を依頼し、生徒自らがインタビューや取材を行いながら、「地域の人たちの仕事への想い」を伝えるイメージポスター及びPR動画を作成する授業を全5回の行程で実施。

【成 果】 一連の授業を通じて、生徒達の地域を見る目・見方が大きく変化した。

【所 見】 これまでつながりのなかった高校との連携の第一歩が踏み出せた。学校・地域側ともに上々の反応があり、継続して開催が望まれる。



地元の産業 魅力PR

村上中等教育学校 ポスター・CM発表会

生徒が体験・取材し制作

村上市の村上中等教育学校5年生が、地元産品の魅力をPRするためのポスターとCMの発表会が開かれた。生徒が地元産品の魅力をPRするためのポスターとCMの発表会が開かれた。生徒が地元産品の魅力をPRするためのポスターとCMの発表会が開かれた。

地域で活躍する人から学ぶための努力を、地域への関心を高める目的の一環として、村上市が地元産品の魅力をPRするためのポスターとCMの発表会を開いた。生徒が地元産品の魅力をPRするためのポスターとCMの発表会が開かれた。

それらポスター及びCMは、1時間近くかかるといわれるが、生徒たちは、手作業の楽しさや、地元産品の魅力をPRするためのポスターとCMの発表会が開かれた。生徒が地元産品の魅力をPRするためのポスターとCMの発表会が開かれた。

4-11 小規模多機能自治について研究・普及啓発（自主事業）

【事業期間】 平成27年11月～平成28年6月

【事業概要】 少子高齢化の急激な進展に備えるべく、住民自治を進化させるための手法の一つである「小規模多機能自治」に関する研究活動及び普及啓発。

【実績】 ●小規模多機能自治を考える雲南の集い（雲南ゼミ）参加

実施日 平成27年11月5～7日

参加者 3名

内 容 島根県雲南市における地域自主組織の現地視察

●雲南ゼミ参加報告会

実施日 平成27年12月14日 16～17時

会 場 富樫工務所モデルハウス「木くぼりの家」

来場者 20名（地域内の行政職員・まち協関係者・議員他）

内 容 雲南ゼミでの知見の情報共有会

●市民活動・地域づくり支援者戦略共有会議 in 岡山への参加

実施日 平成28年5月16～17日

会 場 きらめきプラザ（岡山市）

参加者 3名

内 容 小規模多機能自治に関する研修会

【成 果】 地域内から小規模多機能自治に関する講演依頼が2件あり

・神林地区まちづくり協議会連絡会（H28/02/16）

・関川村コミュニティ組織研修会（H28/06/27）

第30回新潟県ふるさとづくり大会への企画提案

・小規模多機能自治をテーマとした企画提案を行い、採択される。

【所 見】 次世代の地域づくりの方向性として着目した「小規模多機能自治」は、多方面からの共感があり、着実に浸透しはじめた。

5. 商品開発支援

5-1 郊外型ニュータウンで売れる商品づくり実験（自主事業）

～柏ビレジ（千葉県柏市）と村上地域内の事業者との連携プロジェクト～

- 【事業期間】 平成 27 年 7 月～平成 28 年 6 月
- 【内 容】 首都圏近郊の郊外型ニュータウンでは、高齢化の進行に伴い、買物弱者が増えつつある。高齢世帯のニーズに合わせた商品を、小回りの効く地域内の小規模事業者と共に開発・販売する仕組みづくりを実施。
- 【実施概要】 柏ビレジで活動している NPO 法人ビレジサポートと協働し、村上地域内の物産をニュータウン内にある商店街の空店舗で定期的に販売する実験。都岐沙羅パートナーズセンター側から村上地域内の事業者が製造している物産リストを提供し、それに基づいてビレジサポートが注文・販売する卸売り形式で実施。
- 【実 績】 取引事業者数：6 事業者
販売商品数：12 品目
取 引 額：188,978 円（H27.7～H28.6 実績）
- 【所 見】 本格展開を目指して財源確保（助成金申請）を試みたものの、残念ながら採択には至らず、現段階は細々と実施している状態。仕組みづくりに向けて、今後も地道に継続していきたい。

6. 情報発信事業

6-1 インターネットによる情報発信（自主事業）

●ブログ（つきさらの元気ななかまたち（<http://blog.canpan.info/tsukisara/>））

記事更新：50 件（一月平均 4.2 件）	※26 年度	53 件（一月平均 4.4 件）
訪問者数：6,052 人（前年の約 13 倍）	※ //	434 人
ページビュー：52,938 件（前年の約 26 倍）	※ //	1,949 件

●SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）

<都岐沙羅パートナーズセンターの facebook ページ>

いいね！件数	625 件（前年比＋126 件）
リーチ数	96,449 件（前年比 105% 増）

<おしゃべりCafeの facebook ページ> ※平成 26 年 12 月 3 日より運用開始

いいね！件数	246 件（前年比＋86 件）
リーチ数	57,385 件（前年比 43% 増）

<おしゃべりCafeの Twitter アカウント> ※平成 26 年 12 月 3 日より運用開始

フォロワー数	368 件（前年比＋197 件）
ツイート数	2,169 件（前年比 112% 増／自動定期ツイート含む）

<おしゃべりCafeのLINEアカウント> ※平成 27 年 3 月 3 日より運用開始

友達数	31 人（前年比＋11 人）
メッセージ送信数	60 通（前年比 114% 増）

- 【所 見】 SNS の活用により、大幅に情報発信力が向上した。

7. 講師派遣・視察受入

1) 視察受入

27年度の視察等の受入実績は以下のとおり。

	受入日	訪問者	人数	備考
1	H27.7.16	魚沼市企画政策課	15	有償
2	H27.8.12	山の暮らし再生機構	4	ヒアリング対応
3	H27.9.15	新潟大学・佐藤教授	1	ヒアリング対応
4	H27.10.17	柏崎市別山コミュニティ振興協議会	34	有償
5	H27.10.20	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局	1	ヒアリング対応
6	H27.10.30	国土技術センター	2	有償
7	H27.12.15	福島県喜多方市議会	4	有償
8	H28.2.13	見附市見附町部東地区コミュニティ設立準備会	31	有償
9	H28.3.23	九州大学大学院・中田氏	2	有償
10	H28.4.13	新潟県地域政策課	2	ヒアリング対応
11	H28.5.27	新潟県農林公社	3	ヒアリング対応
12	H28.6.15	日本上流文化圏研究所	2	ヒアリング対応

2) 講師派遣

27年度の団体としての講師派遣実績は以下のとおり。

	派遣日	派遣内容	担当者
1	H27.12.21	葡萄スキー場職員研修ワークショップ	佐藤・鈴木
2	H28.2.6	朝日「人づくり講座」講師	斎藤・鈴木・能登谷
3	H28.2.23	コミュニティスペース運営ボランティア養成講座	佐藤・能登谷
4	H28.3.1	コミュニティスペース運営ボランティア養成講座	佐藤・能登谷
5	H28.3.8	コミュニティスペース運営ボランティア養成講座	佐藤・能登谷
6	H28.3.13	多様な主体による協働フォーラム in 三条 事例発表	佐藤
7	H28.6.27	関川村コミュニティ組織研修会	斎藤



【その他事業】

1. 物販事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成 27 年 7 月～平成 28 年 6 月

内 容：書籍委託販売を実施。

- | | |
|------------------------------|-----|
| ・村上市観光協会村上観光 BOOK「むムm」 | 5 冊 |
| ・NPO 法人まちづくり学校「まちあるきスタイルブック」 | 1 冊 |

【NPO 法人の運営】

1. 理事・事務局スタッフの活動

1) 講演・講師 (19 件)

- H27/07/22 新発田中央高校キャリア教育授業 トークゲスト (能登谷)
- H27/07/23 紫波町・持続可能なまちづくり研修会 講師 (斎藤)
- H27/07/24 雫石町・コミュニティビジネス講座 講師 (斎藤)
- H27/07/25 最上小国川清流未来振興機構シンポジウム 基調講演他 (斎藤)
- H27/08/03 リアル版しごとトーク トークゲスト (能登谷)
- H27/10/09 村上市観光協会市民観光講座 講師 (能登谷)
- H28/01/20-22 内閣府 子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業「青年リーダー研修会」ファシリテーター (能登谷)
- H28/02/16 神林地区まちづくり協議会連絡会 講演 (斎藤)
- H28/02/17 山北中学校 1 学年礼儀・マナー講座 講師 (佐藤)
- H28/03/06 長寿社会における生涯学習政策フォーラム 2015 in 大分 コーディネーター (斎藤)
- H28/03/08 滝沢市人材育成講座 講演 (斎藤)
- H28/03/09 北上市・地域づくり講演会 講演 (斎藤)
- 宮古市・田老地区における住民勉強会 講師 (斎藤)
- H28/03/10 紫波町・小規模多機能自治ナイト 講師 (斎藤)
- H28/03/11 紫波町・赤沢地区での研修会 講師 (斎藤)
- H28/03/17 新発田地域・農山村交流研修会 講師 (斎藤)
- H28/05/14 しずくいし地域づくりフォーラム 2016 基調講演 (斎藤)
- H28/06/17 荒川中学校職場体験前マナー講座 講師 (能登谷)
- H28/06/27 関川村コミュニティ組織学習会 講演 (斎藤)

2) 委員会・会議出席 (51 件)

- H27/07/03 越後むらかみ food プライド食のモデル地域構築計画協議会会議 (佐藤)
- H27/07/16 村上市観光協会企画運営委員会 (能登谷)
- H27/07/17 越後むらかみ food プライド食のモデル地域構築計画協議会会議 (佐藤)
- H27/07/17 あさひまつり検討委員会 (能登谷)
- H27/07/21 村上市観光協会・地域資源活用 TP 特別委員会 (斎藤・佐藤)
- 村上市産業支援プログラム座談会 (斎藤)
- H27/07/21 総務省・地域の暮らしを支える地域運営組織に関する研究会 (斎藤)

H27/07/30 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会（忠）
 H27/08/07 あさひまつり検討委員会（能登谷）
 H27/08/18 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会（忠）
 H27/08/31 総務省・地域の暮らしを支える地域運営組織に関する研究会（斎藤）
 H27/09/03 村上市観光協会企画運営委員会（能登谷）
 H27/09/03 朝日地区配偶者対策事業実行委員会（能登谷）
 H27/09/09 村上秋花火ボランティア運営委員会（佐藤）
 H27/09/12 朝日地区配偶者対策事業イベントスタッフ（能登谷）
 H27/09/25 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会（忠）
 H27/10/28 村上市観光協会企画運営委員会（能登谷）
 H27/11/09 朝日地区配偶者対策事業実行委員会（能登谷）
 H27/11/11 新潟ろうきん福祉財団研修会（斎藤・鈴木）
 H27/11/17 あさひまつり検討委員会設立総会（忠）
 H27/11/17-18 総務省・地域の暮らしを支える地域運営組織に関する研究会（斎藤）
 H27/11/24-25 総務省・地域の暮らしを支える地域運営組織に関する研究会（斎藤）
 H27/11/26 村上市観光協会企画運営委員会（能登谷）
 H27/12/02 村上市観光協会企画運営委員会（能登谷）
 H27/12/03 ソーシャルビジネスセミナー 研修会参加（斎藤）
 H27/12/04 総務省・地域の暮らしを支える地域運営組織に関する研究会（斎藤）
 H27/12/07 新潟県労働金庫・懇談会（斎藤）
 H27/12/09 景観フォーラム・参加（忠、近、村山、斎藤、鈴木、佐藤、能登谷）
 H27/12/17 あさひまつり検討委員会（能登谷）
 H28/01/08 越後むらかみ food プライド食のモデル地域構築計画協議会会議（佐藤）
 H28/01/11-12 NPO 支援者技能登録制度」検討会（斎藤）
 H28/01/15 朝日地区まちづくり協議会連絡会（斎藤）
 H28/01/27 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会（忠）
 H28/01/29 総務省・地域の暮らしを支える地域運営組織に関する研究会（斎藤）
 H28/02/05 いわふね青年会議所新年会（忠）
 H28/02/17 経営発達支援計画朝日地区活性化委員会（忠）
 H28/03/01 総務省・地域の暮らしを支える地域運営組織に関する研究会（斎藤）
 H28/03/02 UX テレビ「ナマ+トク」 ゲスト出演（佐藤・能登谷）
 2016 にいがたワーク&ライフフォーラム実行委員会（鈴木）
 H28/03/23 あさひまつり検討委員会（忠）
 H28/03/28 平成 28 年度第 1 回村上市社会福祉協議会評議員会（忠）
 H28/04/12 村上市観光協会企画運営委員会（能登谷）
 H28/04/19 2016 にいがたワーク&ライフフォーラム実行委員会（忠）
 H28/04/25 あさひまつり検討委員会（忠）
 H28/05/13 村上市観光協会総会（忠）
 H28/05/21 NPO 活動助成・二次審査会（近・斎藤）
 H28/05/31 平成 28 年度第 2 回村上市社会福祉協議会評議員会（忠）
 H28/06/03 2016 にいがたワーク&ライフフォーラム実行委員会（斎藤）
 H28/06/07 小規模多機能自治・研修会参加（斎藤）
 H28/06/08 小規模多機能自治推進ネットワーク会議・総会出席（斎藤）
 H28/06/14 総務省・地域の暮らしを支える地域運営組織に関する研究会（斎藤）

3) 法人運営に関する活動

①理事会 (11回開催)

- H27/07/09 第1回理事会 (出席者6名 / H26年度決算見込・H27年度予算見込等)
- H27/07/31 第2回理事会 (出席者8名 / H27年度事業見込み等)
- H27/09/09 第3回理事会 (出席者7名 / 各種事業進捗状況報告等)
- H27/10/07 第4回理事会 (出席者6名 / 各種事業進捗状況報告等)
- H27/11/12 第5回理事会 (出席者6名 / 各種事業進捗状況報告等)
- H27/12/14 第6回理事会 (出席者6名 / 各種事業進捗状況報告等)
- H28/01/21 第7回理事会 (出席者7名 / 各種事業進捗状況報告等)
- H28/02/24 第8回理事会 (出席者6名 / 各種事業進捗状況報告等)
- H28/04/07 第9回理事会 (出席者7名 / 各種事業進捗状況報告等 / H28事業計画検討)
- H28/05/11 第10回理事会 (出席者6名 / 各種事業進捗状況報告等 / H27決算見込)
- H28/06/14 第11回理事会 (出席者7名 / 各種事業進捗状況報告等 / H27決算見込)

②三役会議

開催無し

③部会

開催無し

II 平成 27 年度決算報告

平成27年度 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 活動計算書

平成27年7月1日～平成28年6月30日

科目・摘要	金額 (円)		増 減	備 考
	当初予算	決算額		
I 経常収益				
1. 受取会費	495,000	423,000	▲ 72,000	
正会員受取会費	135,000	120,000	▲ 15,000	
賛助会員受取会費	360,000	303,000	▲ 57,000	
2. 受取寄付金	50,000	5,000	▲ 45,000	
3. 受取助成金等	0	556,507	556,507	村上市婚活支援事業/NPO応援ローン利子補給
4. 事業収益 (特定非営利活動に係る事業)	15,112,230	16,180,583	1,068,353	
①住民活動支援	1,998,000	3,999,600	2,001,600	
②CB/SB支援事業	0	0	0	
③地域ツーリズム開発・プロモーション事業	3,474,730	3,840,089	365,359	
④地域づくり支援事業	5,979,500	7,572,380	1,592,880	詳細は別紙1内訳書参照
⑤商品開発支援事業	0	201,570	201,570	
⑥情報発信事業	0	0	0	
⑦講座・研修会の企画運営	0	0	0	
⑧講師派遣・視察受入	300,000	566,944	266,944	
⑨その他	3,360,000	0		決算額は①～⑧へ算入
5. 事業収益 (その他事業)	30,000	10,000	▲ 20,000	詳細は別紙1内訳書参照
6. その他収益	3,000	7,498	4,498	
受取利息	0	384	384	
受取配当金	0	300	300	
雑収入	3,000	6,814	3,814	
経常収益 計	15,690,230	17,182,588	1,492,358	
II 経常費用				
1. 事業費	13,598,300	14,456,545	858,245	
人件費	8,800,300	8,546,868	▲ 253,432	詳細は「財務諸表の注記」を参照
その他経費	4,798,000	5,909,677	1,111,677	
2. 管理費	2,062,502	1,899,478	▲ 163,024	
人件費	661,502	770,899	109,397	
給与手当	661,502	521,425	▲ 140,077	事務局職員 (パート)
法定福利費		73,959	73,959	労働保険・児童手当拠出金
福利厚生費		25,515	25,515	常勤職員健康診断
事業スタッフ報酬		150,000	150,000	WEB環境構築作業報酬
その他経費	1,401,000	1,128,579	▲ 272,421	
外注費	210,000	216,000	6,000	税理士決算業務
旅費交通費	400,000	550,135	150,135	職員業務移動交通費・事務局長交通費
理事会交通費	30,000	0	▲ 30,000	役員交通費
事務用品費	7,500	4,422	▲ 3,078	
消耗品費	18,000	1,583	▲ 16,417	
印刷費	30,000	59,332	29,332	名刺/封筒
通信費	70,000	125,608	55,608	
水道光熱費	100,000	0	▲ 100,000	
会議費	0	21,000	21,000	
支払手数料	3,500	6,612	3,112	
諸会費	50,000	49,350		
租税公課	7,000	6,950	▲ 50	契約用収入印紙
支払利息	10,000	4,064	▲ 5,936	NPO応援ローン利息
法人税・住民税及び事業税	70,000	70,115	115	
消費税納付額	360,000	0	▲ 360,000	
雑費	35,000	13,408	▲ 21,592	
3. 予備費	29,428	0		
経常費用 計	15,690,230	16,356,023	665,793	
当期経常増減額				
III 経常外収益				
1. 固定資産売却益		0		
2. 過年度損益修正益		0		
経常外収益 計		0		
IV 経常外費用				
1. 固定資産除却損		0		
2. 過年度損益修正損		0		
経常外費用 計		0		
経理区分振替額	0	10,000		その他事業会計→特定非営利活動に係る事業会計
当期正味財産増減額	0	826,565		
前期繰越正味財産額	105,625	105,625	0	
次期繰越正味財産額	105,625	932,190	826,565	

別紙1 事業収益の内訳

種別	事業名	金額	備考	
補助	村上市婚活支援事業	481,000	補助：村上市	
	NPO応援ローン利子補給	75,507	補助：新潟ろうきん福祉財団	
	計	556,507		
特定非営利活動に係る事業	①住民活動支援	若者チャレンジ応援プロジェクト	3,999,600	委託：村上市
	②CB/SB支援事業		0	
	③地域ツーリズム開発・プロモーション事業	村上グリーン・ツーリズム協議会事業	334,000	委託：村上地域グリーン・ツーリズム協議会
		地域資源活用推進事業	867,340	委託：新潟県村上地域振興局
		朝日まほろば夢農園管理事業	1,405,200	委託：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合
		青少年森林林業体験塾・企画運営	723,819	委託：新潟北部地域林業振興協議会
		森林体験活動指導者への安全マニュアル作成	274,730	委託：新潟北部地域林業振興協議会
		越後下関地区観光ガイドブック原稿作成	235,000	委託：米沢街道地域づくり検討会
	④地域づくり支援事業	学校と地域を結ぶオープンセッション	400,000	事業負担金：村上市教育委員会
		地域人材育成業務委託	3,564,000	委託：村上市
		高根活性化プロジェクト支援事業	0	委託：高根活性化委員会
		大島畑作講習会事業	149,500	委託：大島農家組合
		関川村空き家等状況調査	1,998,000	委託：関川村
		第2回岩船米品質食味コンテスト支援業務	382,320	委託：新潟県村上地域振興局
		ワーク&ライフセミナー in 村上	720,000	委託：新潟ろうきん福祉財団
		多様な主体による協働フォーラム業務	358,560	委託：新潟県県民生活課
	⑤商品開発支援事業	柏ビレジ・買物弱者支援プロジェクト	201,570	自主事業
	⑥情報受発信事業		0	
	⑦講座・研修会の企画運営		0	
	⑧講師派遣・視察受入		566,944	自主事業
計		16,180,583		
その他	物販事業	10,000	自主：書籍（マチダス2011、Life.mag、むムム）販売	
	計	10,000		

別紙2 事業費の内訳

科目	非営利事業	補助金・助成金事業	その他事業	備考
(1) 人件費				
職員給料手当	5,378,400	357,600		事務局職員（常勤3名）
臨時雇賃金				
法定福利費	762,421	49,691		社会保険料事業主負担分
福利厚生費				
事業スタッフ報酬	1,998,756			事業従事者への報酬
人件費 計	8,139,577	407,291	0	
(2) その他経費				
外注費	792,124	0		空家調査作業、DVD製作
謝金	550,280	100,000		講師謝金
研修費	299,462	0		研修会参加費
旅費交通費	386,101	3,100		職員移動旅費等
事務用品費	77,419	0		文具、業務用ソフト使用料等
消耗品費	251,012	24,299		日用品等、おしゃべりCafé茶菓代
備品購入費	128,659	0		OA機器、空家調査備品
印刷費	1,802,191	0		コピー代、印刷製本費
会議費	80,520	0		会場使用料等
材料費	317,718	0		体験プログラム材料費、物品仕入
通信費	466,256	0		メール便・郵送費・電話代等
使用料及び借料	266,230	0		会場使用料、コピー機リース料
水道光熱費	216,222	0		GT推進拠点経費等
新聞図書費	30,810	0		新聞購読費、図書費
保険料	44,110	0		イベント保険
支払手数料	9,664	648		
租税公課	0	0		
雑費	62,852	0		
その他経費 計	5,781,630	128,047	0	
事業費 計	13,921,207	535,338	0	

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、原価基準により評価方法は総平均法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業費の区分は以下の通りです。

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業					補助金・助成金事業	その他の事業		事業部門計
	住民活動支援事業	地域ソーリズム事業	地域づくり支援事業	商品開発支援事業	講師派遣・視察受入		物販事業		
(1) 人件費									
職員給料手当	1,251,600	1,434,000	2,369,280	21,600	301,920	357,600			5,736,000
臨時雇賃金									
法定福利費	173,918	203,028	340,086	3,152	42,237	49,691			812,112
福利厚生費									
事業スタッフ報酬	398,056	470,000	1,040,700		90,000				1,998,756
人件費計	1,823,574	2,107,028	3,750,066	24,752	434,157	407,291	0		8,546,868
(2) その他経費									
外注費		60,000	732,124						792,124
謝金	71,000	84,000	385,280		10,000	100,000			650,280
研修費			299,462						299,462
旅費交通費	65,490	272,596	48,015			3,100			389,201
事務用品費	879	75,943	597						77,419
消耗品費	192,897	28,887	29,228			24,299			275,311
備品購入費		87,619	41,040						128,659
印刷費	39,230	292,246	1,462,415		8,300				1,802,191
会議費		57,000	23,520						80,520
材料費		130,900	20,000	166,818					317,718
通信費	65,750	373,599	16,952	9,955					466,256
使用料及び借料	2,000	211,280	44,250		8,700				266,230
水道光熱費		216,222							216,222
新聞図書費		20,681	10,129						30,810
保険料	40,510	3,600							44,110
支払手数料	3,240	1,456	4,968			648			10,312
租税公課									0
雑費	1,080	9,500	52,272						62,852
その他経費計	482,076	1,925,529	3,170,252	176,773	27,000	128,047	0		5,909,677
事業費計	2,305,650	4,032,557	6,920,318	201,525	461,157	535,338	0		14,456,545

3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産	0	0	0	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	0	0	0
投資その他の資産	0	0	0	0	0	0
出資金	10,000	0	0	10,000	0	10,000
合 計	10,000	0	0	10,000	0	10,000

4. 借入金を増減内訳

借入金を増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	5,700,000		5,700,000	0
長期借入金	0	0	0	0
合 計	5,700,000	0	5,700,000	0

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書/事業費)		
事業スタッフ報酬	1,998,756	1,618,056
(活動計算書/管理費)		
活動計算書 計	1,998,756	1,618,056
(貸借対照表)		
貸借対照表 計	0	0

平成27年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成28年6月30日時点

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産の部			1 流動負債の部		
(現金・預金)			短期借入金	0	
現金	389,604		前受金	0	
普通預金	1,758,790		預り金	114,751	
(売上債権)			未払金	1,076,833	
未収金	35,380		未払法人税	70,000	
(その他の流動資産)			未払消費税	0	
立替金	0				
仮払金	0		負債合計		1,261,584
流動資産合計		2,183,774			
2 固定資産合計			III 正味財産の部		
出資金	10,000		前期繰越財産	105,625	
固定資産合計		10,000	当期正味財産増減額	826,565	
			正味財産合計		932,190
資産合計		2,193,774	負債及び正味財産合計		2,193,774

平成27年度 財産目録

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成28年6月30日時点

科目・摘要		金額	
I.資産の部			
1) 流動資産の部			
現金預金	現金	389,604	
	普通預金(村上信用金庫本店)	1,678,236	
	普通預金(新潟労働金庫村上支店)	80,554	
			2,148,394
未収金	NPO法人ビレジサポート	30,380	
	関川村コミュニティ連絡協議会	5,000	
			35,380
出資金		10,000	
			10,000
	流動資産の部 合計		2,193,774
2) 固定資産の部			
		0	
	固定資産の部 合計		0
	資産の部 合計		2,193,774
2 負債の部			
1) 流動負債の部			
預り金	源泉税/雇用保険料/社会保険料	114,751	
			114,751
短期借入金	新潟労働金庫村上支店	0	
			0
未払法人税		70,000	
			70,000
未払消費税		0	
			0
未払金	6月分給料	523,450	
	職員移動費	42,850	
	その他	441,867	
	社会保険料	68,666	
			1,076,833
	流動負債の部 合計		1,261,584
2) 固定負債の部			
	固定負債の部	0	
			0
	負債の部 合計		1,261,584
3 正味財産の部			
	正味財産		932,190

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター
理事長 忠 隆司 様

私たちは、平成 27 年 7 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日までの会計監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

会計監査について、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検査した。

2 監査意見


- (1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく表示しているものと認める。

- (2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

平成 28 年 7 月 25 日

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

監 事 大 境 園 志 

監 事 梅 田 久 子 



平成27年度 事業報告及び決算報告

【概要】

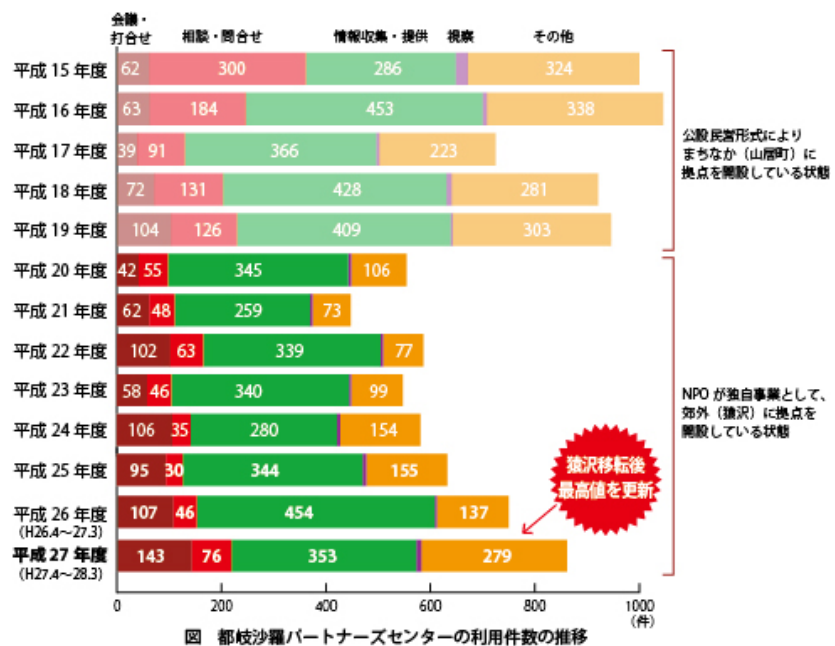
※平成28年度通常総会での説明資料

1 住民活動支援

住民支援窓口としての機能が**着実に回復!**

利用件数：860件（前年比15%増）

利用者数：1,057人（前年比18%増）



1 住民活動支援

CSVによる街なか拠点は**利用件数倍増**

▷ (株) 富樫工務所との協働により、モデルハウス「木くばりの家」を改修して開設した街なか拠点の利用者・利用件数が、**前年比から倍増**。

街なか拠点の利用件数

利用目的	H26	H27
コミュニティスペース	19	37
各種教室	12	22
イベント開催	7	36
会議	4	12
サークル利用	2	7
視察対応	2	0
その他	21	16



▷ ここでの活動から、**地域内に活フィールドを広げていく利用者・団体も**。
▷ 住民活動のインキュベーション施設として新しいスタイルを構築しつつある。

次世代の担い手となる20~30代への支援「若者チャレンジ応援プロジェクト」

1) おしゃべりCafeの実績



開催回数 **14**回 (前年度比200%)

延べ参加者数 **555**人 (前年度比300%)

- ▷ 当初目標値：参加者数延べ400人
- ▷ 目標達成度：139%
- ▷ 1回あたりの参加者数：39.6人 (前年度比150%)
- ▷ 純参加者数：111人※ (前年度比202%)
※ 純粋な参加者数 (複数回参加も1人とカウント / 事業対象者のみ)

- ▷ おしゃべりCafe内でのミニイベント開催回数：36回
- ▷ " 延べ参加人数：312人
- ▷ " 延べ参画人数：32人
※ 純粋な参画者数14人 (複数回参画も1人とカウント)

2) チャレンジプロジェクトの実績



開催回数 **12**回 (前年度比1200%)

農・食イベント 3回/交流イベント 6回/情報発信 3回

延べ参画者数 **52**人 (前年度比578%)

延べ参加者数 **213**人 (前年度比734%)

▷当初目標値：4回開催

▷目標達成度：300%

▷純参画・参加者数：70人※

※純粋な参加者数（複数回参加も1人とカウント）

成果①

おしゃべりCafeで出会った仲間同士で、地域で開催されるイベントに参画・参加するようになった。

- 参画・参加した地域イベント数：21件
- 地域イベントに参画した人数：8人
(村上シャルソン/村上マルシェ他)
- 地域イベントに参加した人数：72人



第3回村上シャルソン (H27.9.5) への参画・参加

成果②

おしゃべりCafeでのミニイベント開催を機に、地域で自主的にイベントを開催するようになった。

- 自主イベントを主催した人数：5人
(うち3人がミニイベント提供)
- 自主イベントの開催回数：111回
(うち70件が木くぼりの家を利用)



子育てママのサロン「ママカフェ」の定期開催

成果③

仲間と一緒にチャレンジすることで、自立した活動へとレベルアップした。

- チャレンジプロジェクトの1つ「農と食に関するプロジェクト」は、回を重ねるごとに参画者自立度指数が向上※。3回目は、ほとんどサポートが不要であった。



例：農と食に関するプロジェクトの指数変化



【参加者自立度指数】

チャレンジプロジェクト1回の開催にあたって必要となる作業項目をあげ、それぞれにかかる時間や手間を考慮した配点表を作成。これにより、参画者と都岐沙羅パートナーズセンタースタッフの作業分担を数値化し、その変化から参画者自立度指数を算出。

2 コミュニティビジネス支援

27年度は実施せず。

3 地域ツーリズムの開発・プロモーション

① 2つの組織の事務局を受託（事業コーディネート含む）

- 村上地域グリーン・ツーリズム協議会
- 朝日まほろば夢農園管理組合

② プログラムの開発・試行

- おとなの夜学&ランチ

③ 研修の企画運営

- 青少年森林林業体験塾
→参加者12名/うち4名が林業事業体に就職
※昨年度は14名参加/うち4名が就職

④ マニュアル・ガイドブックの作成

- 森林体験活動指導者への安全マニュアル作成
- 関川村散策ガイドブック～渡辺邸編～





地域外でのプロモーション活動 7回 (前年2回) 交流プログラムの開発・試行 13回 (前年6回)
 研修の企画・参加 4回 (前年5回) 地域内参画事業者数 33団体 (前年23団体)

【地域ツーリズム関連の27年度実績】

事業を通じて生み出した**交流人口1,458人**

H26 : 1,245人
 H25 : 1,300人
 H24 : 1,453人

4 地域づくり事業のコーディネート

①多様な主体が参加した交流機会の創出

- 学校と地域を結ぶオープンセッション (通算10回目)
- まちカフェ (通算6回目)
- 2015ワーク&ライフセミナー in 村上

【27年度実績】

開催回数：3回 (H26：2回/H25：3回/H24：3回)
 参加者数：285人 (H26：183人/H25：238人/H24：216人)

②研修・講座の企画運営

- 婚活セミナー&ワークショップ
→計3回開催/参加者のべ35名
- 関川村大島・畑作栽培講習会
→1回開催/参加者20名



③計画づくり支援・調査分析

●まちづくり協議会の活動分析 (H24-26分)

→17協議会の運営・事業・収支を分析しレポート作成
※市のHPからダウンロード可

●関川村空き家等状況調査

→200戸を現地調査

●小規模多機能自治についての研究・普及啓発

→島根県雲南市での現地視察／岡山市での研修会参加
→現地視察報告会開催（1回）

【成果】 地域内から講演依頼が2件

- ・ 神林地区まちづくり協議会連絡会
- ・ 関川村コミュニティ組織研修会

第30回新潟県ふるさとづくり大会のメインテーマに

●高根集落・地域ビジョンづくり

→計画書原稿の作成



④情報発信事業

●むらかみ元気マガジンの制作

→協働情報誌「むらかみ元気マガジン」の企画・取材・執筆・編集・デザイン・印刷を実施（年3回発行）

⑤総合学習支援

●村上中等教育学校5年生の出前授業

→生徒自らがインタビュー等を行いながら、「地域の人たちの仕事への想い」を伝えるイメージポスターとCMを作成
→新潟日報をはじめ、各種新聞に大きく取りあげられる

⑥事業実施補助

●第2回「岩船米」品質食味コンテスト

→広報と1次審査、予備審査、本審査での審査作業補助



5 商品開発支援

①郊外型ニュータウンで売れる商品づくり実験

●柏ビレジ（千葉県柏市）と村上地域内の事業者との連携プロジェクト

→柏ビレジで活動しているNPO 法人ビレジサポートと協働し、村上地域内の物産をニュータウン内にある商店街の空店舗で定期的に販売

取引事業者数：6事業者

販売商品数：12品目

取引額：188,978円（H27.7～H28.6実績）

6 情報受発信

●SNSを活用し、発信力が飛躍的に向上！

▷ブログ ページビュー：年間52,938件（前年の26倍！）

▷facebook リーチ数：年間96,449件（前年から105%増） いいね！数：625件

※おしゃべりCafé " "：年間57,385件（前年から43%増） いいね！数：246件

7 講師派遣・会議出席

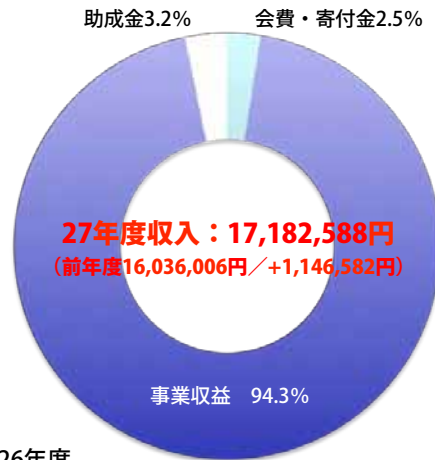
- 研修会等への講師派遣 のべ26件
- 各種委員会・会議等への出席 のべ51件
- 視察・ヒアリングの受入 のべ12件

【27年度の総括】

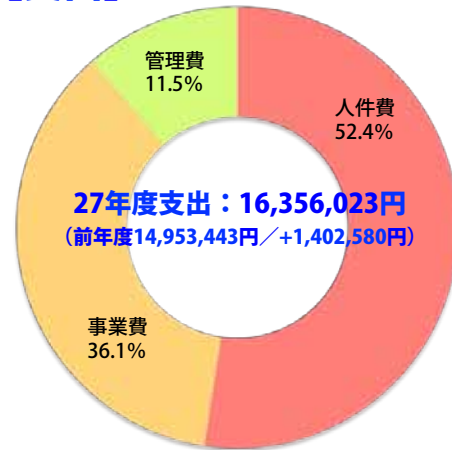
- 街なか拠点＋若者支援が相乗効果を生み出し、新たな担い手を次々に発掘。そうした人材が地域に積極的に飛び出し、様々な活動を展開しはじめた。
- 地域内外のネットワークを駆使し、地域PRの機会が大幅に増加。少ない予算で3年前と同等の交流人口数を実現。
（H24：5,601千円 → H27：3,840千円）
- 少子高齢化の急激な進展に備え、住民自治の進化型「小規模多機能自治」の研究・普及啓発に力を入れた結果、少しずつ地域に浸透しはじめた。今後、こうした動きをさらに加速させるためには、仕組みの進化も不可欠。行政機関に対し積極的に事業提案を行い、より一層の協働を進めていく必要がある。

平成27年度決算

【収入】



【支出】



平成26年度
 当期収支差額 1,109,863円
 次年度繰越金 105,625円

平成27年度
 当期収支差額 826,565円
 次年度繰越金 932,190円

【収入の推移】

※25年度はH25.4～H26.6の15ヶ月間

	平成25年度※	平成26年度	平成27年度
会費・寄付金	478千円(2.8%)	1,624千円(10.1%)	428千円(2.5%)
事業収益	15,904千円(95.7%)	12,411千円(77.4%)	16,190千円(94.3%)
助成金	185千円(1.1%)	2,000千円(12.5%)	557千円(3.2%)
その他	59千円(0.4%)	1千円(0.0%)	7千円(0.0%)
計	16,626千円	16,036千円	17,182千円

【支出の推移】

※25年度はH25.4～H26.6の15ヶ月間

	平成25年度※	平成26年度	平成27年度
人件費	10,054千円(56.6%)	8,006千円(56.6%)	9,318千円(57.0%)
(内常勤職員分)	8,629千円(48.6%)	5,821千円(48.6%)	7,169千円(43.8%)
(内事業スタッフ報酬)	1,425千円(8.0%)	1,465千円(8.0%)	2,149千円(13.1%)
事業費	5,214千円(29.3%)	5,094千円(29.3%)	4,814千円(29.4%)
管理費	2,512千円(14.1%)	1,853千円(14.1%)	2,224千円(13.6%)
計	17,780千円	14,953千円	16,356千円